

2026 **10**
No.311



GP

全グラ情報

JAPAN



これからの業界をどうするか(どうなるかではなく) サプライチェーンは万全か、継続できるか

全国グラビア協同組合連合会

会長 田口 薫



皆様、私はタイトルにもある上記のことについて考えておりますが、昨今、組合員の3社が経営権を上場企業に譲渡することになり、業界の先行きについて心配しております。物事を考える上で今後（未来）を考えるには、過去、現在を正しく把握し、何故そうなったかを理解するべきです。そのとき見る範囲はできるだけ広く、海外も視野に入れるべきで、日本の軟包装メーカーは欧、米、アジアにも進出していますし、海外勢にも日本のユーザーからの注文が流れているそうです。現状について少しデータを記しておきます。

軟包装出荷額：1兆2,000億円

業者数：約500社

組合員：170社（軟衛協加盟170社）

シェア：上位70社で1兆800億円の売上（1社平均154億円）

残り430社で1,200億円（1社平均2.8億円）

印刷機台数：約1,500台（内400台が25年以内、他の1,100台は30～50年の老朽機）

当業界の現状は以上で、かなり疲弊していると申して良いでしょう。日本は失われた30年と言われるように、工場を海外に移転したり、人材育成や設備の更新よりコストダウンに注力するあまり、安くしなければ注文が取れないという強迫観念にとらわれてきた結果が上のデータです。このままでは廃業、倒産の続出となるように思います。そうするとサプライチェーンが切れます。昨年、T社の倒産でも混乱がありました。数社が工場を止めれば、包材がないために品物が店に並ばないという現象が確実に出現します。以前から「空気と水とパッケージ」と申していますが、なければ大変なことになるのに、一般人は過小評価をして高をくくっています。声を大にして中身メーカーや流通業界に理解を求めて、安価

より継続優先を訴えて行きましょう。

今回、赤澤亮正経済産業大臣にお目にかかる機会が、東海地域の(株)セブンパックスの飯田正志社長さんから参議院予算委員長の藤川政人議員のご紹介で実現しました。ここで「過剰品質問題」を私が持ち出したことから、長年の懸案の解決に向かって一歩進展しました。次に、日印産連の三役に助けを求め、大手3社の部門のトップとの打ち合わせを既に3回も重ねて来ましたが、解決にはまだ遠い道のりがあります。まずは、中身メーカー、流通に過剰品質問題の正しい把握と、このままでは業者数が大幅に減り、業界に供給できないこともあり得るとの認識を共有していただくことですが、「コンバーテック」誌の荒木茂雄社長の発案で、12月16日に東京ビッグサイトで開催される新機能性材料展にて、パネルディスカッションを用意していただけることになりました。ここに、大手食品メーカー、大規模流通業者の方と「過剰品質問題」について討論を行い、適正品質を定めて、数万トンものムダを除けば数百億円が利益となり、これを社員の待遇改善、設備投資、そして労働時間短縮となって、中身メーカーさんにも還元できるように方向付けることができます。

年間20台程度しか更新需要がなく疲弊しつつある印刷機械メーカーも暗い展望の中、新規の改良も進み、より使いやすい機械も開発できるでしょう。私の好きな禅語に「少水の魚に楽しみあり」があります。禅問答の公案と言います。いわばクイズのようなものです。これを解いていくことで、人生の楽しみが生まれる、と80歳を超えてやっと分かったような気持ちになりました。人間は困ったときこそ知恵を出して生き抜いてきたのですから、諦めず前進していきましょう。

日印産連表彰

印刷功労賞に杉山真一郎氏

日印産連表彰は、長年にわたり印刷産業の発展に貢献した個人・団体に対して顕彰する制度で、今年度は、印刷功労賞を全国グラビア協同組合連合会副理事長の杉山真一郎氏（東海グラビア印刷協同組合理事長、富士特殊紙業株）が受賞し、9月9日（水）に開催された（一社）日本印刷産業連合会主催の「9月印刷の月」記念式典において表彰状が授与された。

印刷功労賞

日印産連表彰

杉山真一郎

全国グラビア協同組合連合会
副理事長
東海グラビア印刷協同組合
理事長
富士特殊紙業株
代表取締役社長

【推薦事由】

2021年に東海グラビア印刷協同組合理事長、全国グラビア協同組合連合会副理事長に就任し、組合運営に携わり、組織強化、業界の振興発展に貢献している。特に近年は、適正価格への取り組み、環境問題に対する社会的責任への取り組み、過剰品質問題への取り組み、人不足解決に向けた外国人労働者採用に関わる制度変更への対応等々、グラビア印刷業界、組合が抱える課題に積極的に取り組み、具体的事業計画を推進してきた。

また、各種勉強会等の計画、取適法啓蒙、VOC 排出抑制規制への対応、中央官庁への働きかけ、育成就労制度への移行に関わる周知活動等、組合員企業に大きな影響を与えた。



GP 全グラ情報 JAPAN

2026年10月号 No.311 全国グラビア協同組合連合会

今月の表紙



9月9日にホテルニューオータニにおいて開催された「2026年9月印刷の月」記念式典の様子

CONTENTS

巻頭言 これからの業界をどうするか（どうなるかではなく） サプライチェーンは万全か、継続できるか ①

全国グラビア協同組合連合会 会長 田口 薫

全グラ

日印産連表彰：印刷功労賞に杉山真一郎氏 ③

全国グラビア協同組合連合会・関東グラビア協同組合：合同理事会を開催 ⑥

JFPI

日本印刷産業連合会：「2026年9月印刷の月」

記念式典・懇親会・講演会を開催 ⑧

組合員・単組の近況

関西グラビア協同組合青年部：親睦交流会を開催 ⑮

酒は永遠の友 vol.21 田口 薫 ⑱

Data Watch 2026年6月データ ⑳

紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷 2026年7月 ... ㉔

GP 認定制度申請についてのお願い 30

GP 工場認定制度無料説明会のご案内 32

Packaging

モノマテリアルからAI搭載機まで、TOKYO PACK 2026が開催 34

官公庁 Information

中小企業庁：約束手形の利用廃止を踏まえたサプライチェーン全体での
支払の適正化について 40

今月の気になる製品

DICグラフィックス：「DIC デジタルカラーガイド」に
JAFCAトレンドカラーを初搭載 42

パートタイム・有期雇用労働者に関するルールが変わります 43

Information

九州大学、AIと自己修復機能を備えた次世代食品包装の研究指針提案 33

DIC、グラビアインキ「ECOVART」のグローバル展開を開始 41

GPJAPAN は全国グラビア協同組合連合会が
発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで
15,000 円＋税です。

購読および広告出稿を希望される方は、
全国グラビア協同組合連合会まで。
e-mail : zenkoku-grv@jipi.or.jp

発 行：2026 年 10 月 10 日

発行人：田口 薫（全国グラビア協同組合連合会会長）

発行所：全国グラビア協同組合連合会

〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9

あさひ墨田ビル

TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814

編集スタッフ：下田幸二（全国グラビア協同組合連合会専務理事）、

戸部初雄（全国グラビア協同組合連合会）、

酒井由香（同）

編集協力：(株)加工技術研究会

印 刷：(株)DI Palette

© 全国グラビア協同組合連合会 2026

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPAN の無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、
禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

全国グラビア協同組合連合会・関東グラビア協同組合

合同理事会を開催

全国グラビア協同組合連合会（田口 薫会長）と関東グラビア協同組合（吉原宗彦理事長）は、2026年9月9日（水）午後12時30分～3時まで、東京・ホテルニューオータニ「LAPIS1」において合同理事会を開催した。当日の出席者は、全グラから18名、関東グラビア協組から4名、事務局2名の計24名が出席した。

冒頭、田口会長が以前よりGPJAPANでも紹介している赤澤亮正経産大臣との面会や日印差連らと取り組む過剰品質問題について次のように語った。

「1,500台ある印刷機のうち1,100台が老朽化。働いている人たちは中高年。最高年齢は85歳。60～70代もたくさんいる。数年すれば現場から働き手がいなくなる。印刷機も5年、10年経ったら止まってしまい、供給できなくなる。過剰品質は消費者がどう思うかが基準。食品・流通メーカーに理解してもらうところからスタートすることとなる。簡単にはいかないが、検査機メーカーにもまとまるように働きかけている。ただ、無駄な過剰品質をなくすことができれば、純粋にコストダウンにつながり、無駄な労働時間もCO₂排出量も減らすことができる。結果、機械を新しく買ってもらえる環境が整う。適正価値に見合ったものづくりへと転換していかなければ、この業界は数年のうちにバタバタと会社が倒産してしまい、サプライチェーンにも大きな影響が出ることをしっかり理解してもらいたい」



田口会長

下田幸二専務理事より、理事会終了後に執り行われる日印差連表彰式で杉山真一郎副理事長が印刷功労賞を受賞されることが紹介された（3ページ参照）。また、10月14日（水）のグリーンプリンティング（GP）環境大賞表彰式（東京・出版クラブホール）の案内があった。今年は、GPマーク普及大賞ゴールドプライズに（株）北四国グラビア印刷、大賞に（株）巧芸社、準大賞に賀谷セロファン（株）が受賞。なお、表彰式の後には、GPRP大使の小山薫堂氏とフリーアナウンサーの宇賀なつみ氏による「印刷の月」トークショーや懇親会が開催されるのでぜひご参加を。

その他、各単組からの近況報告などの後、各種セミナー開催報告、全グラ総会地方開催について、来年度のスケジュール、育成就労制度における上乗せ条件、8月18日に衆議院の藤川政人議員へ提出した「パッケージ産業振興議員連盟」設立の要望書について、異

常・過剰品質への対応として「グラビアパッケージ業界の過剰品質問題に関する現状調査のためのアンケート」への協力要請などの説明があった。

育成就労制度については、次のようなポイントについて説明があった。

- ・外国人の業務が受入れ対象の業務区分（グラビア印刷は「印刷・製本」区分）に該当し、外国人が活動する事業所が受入れ可能な日本標準産業分類（グラビア印刷は「印刷・同関連業」）に該当していることが必要
- ・育成就労外国人は、業務区分ごとに設定された「主たる技能」を1つ定めて、当該技能の習得のために従事が必要な業務（必須業務）への従事が必須となる。なお、必須業務に従事させる時間は業務時間全体の1/3以上であること。同一業務区分での必須業務以外の業務は残りの2/3以内で従事可能
- ・フィルム加工（ドライラミ、押出ラミ、スリット、製袋、フラットヤーン）の業務区分追加も検討中
- ・「育成就労制度運用要領」のポイントとして、外国人であることを理由とした差別的取扱いの禁止に関するもの（第4章第2節第10関係）を確認してほしい
- ・一時帰国を希望した場合の有給休暇に関しては、有給休暇をすべて取得していても一時帰国を希望申請する場合は追加的な有給取得ができる配慮をしなければならない
- ・10月1日施行のパートタイム・有期雇用労働者に関するルールも併せて確認してほしい（43ページ参照）

参照：育成就労制度運用要領のポイント

<https://www.moj.go.jp/isa/content/001458205.pdf>



日本印刷産業連合会

「2026 年 9 月印刷の月」 記念式典・懇親会・講演会を開催

(一社) 日本印刷産業連合会 (日印産連) の「2026 年 9 月印刷の月」記念式典・懇親会が、2026 年 9 月 9 日 (水) 午後 4 時 45 分より、東京・ホテルニューオータニ「鶴の間」において開催され、日印産連参加 10 団体の会員、来賓、業界関係者 398 名が参集した。式典では、長年にわたり、印刷産業の発展に貢献した個人・団体に対して顕彰する「日印産連表彰」の印刷功労賞に、全国グラビア協同組合連合会の杉山真一郎副理事長 (東海グラビア印刷協同組合理事長、富士特殊紙業(株)代表取締役社長) が受賞の栄に浴された。

会長挨拶



日印産連の大橋会長

開会にあたり、日印産連の大橋輝臣会長は「先ほど行われた講演会では、小説家の今村翔吾先生にご登壇いただき、印刷が支える本の未来を考えるをテーマに、本という存在がこれからの社会にとって大きな価値と可能性を持っていることを力強くお話をいただき、印刷に深く関わる我々に、大きなエールを送っていただけた講演だった。本式典が印刷産業の社会的役割を見つめ直し、未来への歩みを共有する機会となれば幸いだ。私たちは印刷産業が社会を支

えるインフラとしての役割を持ち、顧客企業の変革、地域経済を支える基盤産業であるという原点を改めて確認したいと考えている。日印産連は、今後も社会の持続可能な成長を支える価値創造産業としての印刷産業の重要性を社会に示していく」と挨拶。

祝辞

来賓代表として、経済産業省 商務・サービスグループ 商務・サービス政策統括調整官の寺本恒昌



経済産業省の寺本氏

氏が登壇し、令和8年熊本地震で亡くなられた方々に哀悼の意を表し、「印刷業においても被災された方々があり、徐々に操業を再開されつつあるとは伺っているが、同省として被災された方々にしっかり寄り添い、復興に向けての支援を行っていききたい」と述べ、各賞受賞者へ祝意を表した。

また、今年実施された日印産連の取引適正化に関する実態調査に触れ、次のように語った。「価格協議や価格転嫁に一定の進展が見られたことが明らかになった。一方、十分な対価が支払われていない業務や無償対応の存在、本来転嫁されるべきコスト上昇分の未転嫁といった課題も依然として浮き彫りになっている。こうした課題に対し、適正取引の推進に向けた自主行動計画において従来の商慣行の見直しに踏み込むなど、業界内でも賢明なアクションが取られている。

印刷業界は同業間の取引も多く、発注側企業となる皆様には自らの取引状況の確認が求められる。また、他業種が発注側となる取引も、価格転嫁を阻害する商慣行を有する業界をデータに基づいて特定し、取引適正化を呼びかける取り組みが進められている。官公需に関しても、今年7月には総務省と連携し、全国の自治体に対して印刷官公需の入札や契約の適正化を求める通知文が発出された。物価高を乗り越えて強い経済をしっかりと実現していくため、官公需を含めた価格転嫁や取引適正化の取り組みを官民一体で進めていく方針だ」。



日本印刷産業連合会表彰

今年度は印刷功労賞、印刷振興賞、特別賞の表彰が執り行われた。

団体運営を通じて、印刷産業の発展向上に寄与した 10 名に印刷功労賞が、業務の進歩改善や多年にわたり業界指導に貢献した 15 名に印刷振興賞が贈られた。全国グラビア協同組合連合会からは、杉山真一郎副理事長が印刷功労賞を受賞した。なお、残念ながら今年度は全グラからの印刷振興賞・団体賞受賞者は該当なしとなった。



上から、印刷功労賞、印刷振興賞、
団体賞を受賞した皆さん

受賞者代表謝辞



謝辞を述べる
内藤プロセスの内藤氏

印刷功労者を受賞した内藤プロセス㈱の内藤正和代表取締役が次のような謝辞を述べた。

「私はシルクスクリーン印刷の会社を興して 50 数年経つ。始めた当初、1970 年代は第 1 次オイルショックで石油価格が高騰して、トイレットペーパーがないと大騒ぎをした時代。今年前半と同じで価格高騰と物が出回らないという、国中が右往左往していた。時代は巡ると言うが、同じことが時を経て繰り返す。今年はそのように感じている。昔よく

言われた言葉がある。継続は力なり。起業当時の苦しい時代から、山あり谷ありと 50 年を経てきた。長く続けることが大事。時代が変われば良いこともある。我が社はこの言葉を今でも思いつつ、現在も事業を維持し、継続している。

私がよく使う言葉は、街に出よう。会社に閉じこもっているだけではなく、街に出れば仕事がたくさん溢れている。コンビニエンスストア、駅、書店、飲食店、家電製品、電子部品、タクシーに乗れば車内に広告がたくさんある。そしてデパートへ行けば、あらゆる所でアナログ印刷、デジタル印刷をたくさん目にする。これらを見ながら新たな提案を試みて仕事をつなげていこう、こんな思いをいつも持っている。私ども印刷 10 団体もつながりを強固にしながら、更なる向上を目指して印刷文化の発展に邁進していこうではないか。それが活気ある印刷業界につながっていくと考えている」

懇親会



日印産連の小林副会長

午後 5 時 45 分からは懇親会が開催された。日印産連の小林友也副会長が次のような開会の挨拶を行った。

「先ほど受賞された皆さん、本当におめでとうございます。熊本の震災や様々な事故があった。それから、今、各地で雨がすごたくさん降っている。昨日は名古屋にいたが、ものすごい雨で洪水のような感じだった。いろいろと復旧されると思うが、被災された方々に心からお見舞い申し上げたい。な

んとか早く復旧して、みんなでまた元気にやっていければと思っている。

日印産連として今年度は、健全な商取引、環境政策、新しいビジネスの創出、基盤事業の見直しを重点に挙げている。これまでの取り組みを見直して、今後も時代の変化に合わせて取り組みを行っていききたい。中でも特に力を入れているのが情報セキュリティ。これを強化することが今最も大事だと考えている。

先日、日本フォーム印刷工業連合会で講師の方を呼んでお話を聞いた。3,000人ぐらいのスペシャリストたちがすぐに対応に当たってくれている状況との話を聞いた。ただ、我々はどんな機械でどんなデータがあるのか誰も分からない。やはり、まずは皆さんが本当に情報セキュリティに詳しい人たちとしっかり話をして取り組んでほしいとアドバイスをいただいたので、いろいろな人たちの協力を得て仕事をしていきたい」

乾杯の発声



乾杯の発声はプリプレス
& デジタルプリンティン
グ機材協議会の山田会長

乾杯の発声を務めたプリプレス&デジタルプリンティング機材協議会の山田周一郎会長は、「7月28日に起こった熊本地震、それから8月に断続的に起こっている大雨、これらに被災した方々にお見舞いを申し上げますとともに、早い復旧復興を願う。海外を見てみると、戦争や紛争など皆さんもかなり影響を感じられていると思う。そういう中で、これだけの業界の面々が揃われて、フェイス to フェイスで情報交換や現状の認識を深めて業界として1つ



にまとまっていくことは大事なことで感じている。印刷業界を見てみると、毎年大きな変化が起きているが、デジタル技術の発展や印刷物の新しい付加価値をみんなで挑戦していこうという動きもあり、業界自身は新しい可能性が大きく広がっている」と述べ乾杯に移り、賑やかな歓談が広がった。

中締め



中締めは全日本製本工業組合連合会の田中会長

中締めには、日印産連 10 団体の会長が登壇し、代表して全日本製本工業組合連合会の田中眞文会長が「本日受賞された皆様、誠におめでとうございます。皆様方には引き続きこの業界を背負ってご指導を賜りたい。激変する世の中、シュリンクしている業界でもあるが、各社が個性を生かして頑張っていたきたい。仕事の上では社長として、責任者として、管理職として、ストレスが非常に溜まると思うが、皆様一人ひとりの健康の方が大切だ。私も今日ここへ来るまで6日、禁酒をした。健康でますます社業に邁進して発展できるよう祈念する」と述べ、三本締めで散会した。



大橋会長と 10 団体の会長が登壇

作家・今村翔吾氏が「印刷が支える本の未来を考える」をテーマに講演



記念式典に先立ち、午後3時30分から小説家の今村翔吾氏の講演会が行われた。

作家活動とは別に書店経営や作家事務所の代表も務める今村氏。書店経営を始めたのは、M&A 関係の仕事をしている知人から声を掛けられたことがきっかけだと話す。「その書店がなくなれば、その町には歩いて行ける書店がなくなるらしい」と聞き興味を持ち、事業を引き継いだ。厳しい財務状況からのスタートであったが、現在店舗は複数に広がり、また書店を維持するためにカフェの経営も始めたという。

コロナ禍には作家仲間たちと「書店を応援するために何かできないか」と盛り上がったものの、いざ自分たちで資金を出す話になると急にトーンダウンしてしまったというエピソードも。そんな中で、「一番しんどい道を自分が歩かなければならない」との思いから1人で取り組みを始めた。出版業界を取り巻く環境は厳しいが、ここ数年は交通、エネルギー関係など他業界から本やエンタメに対する熱い想いや期待が寄せられ、協力したいという声が届いているという。「自分たちの業界は斜陽と言われているわりに、外の業界から見たらまだまだファンがいて魅力があって、救いたいと思ってもらっているのではないかと気が付いた」。

数百年前の古文書や絵巻物など紙に残すということは人間ならではのことであるが、災害時や電気が使えない状況では読書をする人も多く、紙の本は最古にして最後の娯楽ではないかと話す。

最近刊行した自著の「愛蔵版 イクサガミ」は、2万円近い値段にもかかわらず予約が殺到したという。「箔押しや豪華な化粧函など印刷技術を駆使して作られた本には多くの魅力があるからだと思う。印刷業の皆さんにすれば当たり前のことが僕にとってはすごく魅力的なこと」だと今村氏。

印刷産業同様、シュリンクが続く出版産業であるが、今村氏は「諦めてないどころか、どうにかなると本気で思っている」と語る。「50年後の子どもたちが本や書店は必要ないと言うのであれば潔く諦めようと思うが、私は紙という選択肢を残したい。残りの人生、書店と紙の本を守ることにすべてを全振りするつもり。この業界に何か恩返しをしたいので、ぜひ一緒にPRしていければ」とまとめた。

組合員・単組の近況

関西グラビア協同組合青年部

親睦交流会を開催

関西グラビア協同組合青年部（堀川 孟部長（NissiNSeal 株））は、2026 年 9 月 25 日（金）、21 名参加のもと、「心斎橋サンボウル」にて青年部親睦交流ボウリング大会を開催しました。

今回の交流会は、昨年の関西主催「青年部全国大会」で生まれた結束をより強めるとともに、担当者交代により新たに加わったメンバーとの親睦を深める趣旨で企画されたものです。当日は、ピンを狙う熱戦と賑やかな宴を同時に満喫できる「ボウリング de 飲み会」として開催しました。

青年部の堀川部長による開会挨拶に続き、吉田副部長（新生紙化工業株）がマイシューズを携えて始球式に登板。皆の期待を背負った一投は、見事に裏切る「まさかのガター発進」となりましたが、これにより会場は一気に和やかな空気に包まれました。

全 3 ゲームの熱き戦いは、個人戦とレーン対抗のチーム戦を交えた構成です。1 ゲーム目は各自ウォーミングアップを兼ねた練習ゲームとして行われ、皆ブランクを乗り越え調子も徐々に上向きに。続く 2 ゲーム目は、皆さんの参加費をもとに用意された豪華景品をかけた個人戦です。各テーブルには美味しい料理とお酒が並び、グラスを片手に「ストライク!」「惜しい!」と歓声が上がる中、各自がスコアを伸ばし白熱した混戦模様となりました。



3ゲーム目のチーム戦では、チームの垣根を越えてハイタッチが飛び交うなど、会場の一体感がさらに高まります。一投一投が順位を左右する最終盤には、いつしか全チームの視線が注がれる中で一人ずつ投じるスタイルに。緊張感あふれる中で各人が渾身の力を込めて投げ、その結果に皆で一喜一憂する姿は、まさに「関西らしさ」溢れる一幕でした。

続く表彰式では、まずチーム戦の優勝者全員に「ハーゲンダッツ詰合せ引換券」が手渡され、続いてサプライズ賞として、本大会を企画した吉田副部長にまつわる数字の18位に「吉田賞」としてビール6缶が授与されました。さらに、最後まで健闘したブービー賞の参加者には、ユーモア溢れる「心の傷を塞ぐで賞」として絆創膏が贈られ、会場は大きな笑いに包まれました。

そして最後に個人戦上位3名へ「VISA ギフトカード」が贈られると、ボルテージは最高潮に。「日頃は真剣に仕事をし、楽しむ時は全力で楽しむ」を地で行く青年部ならではの、終始笑顔の絶えない、強い絆を改めて実感する特別な一夜となりました。

懇親会 snapshot



堀川部長の挨拶（左）、吉田副部長による始球式で大会がスタート



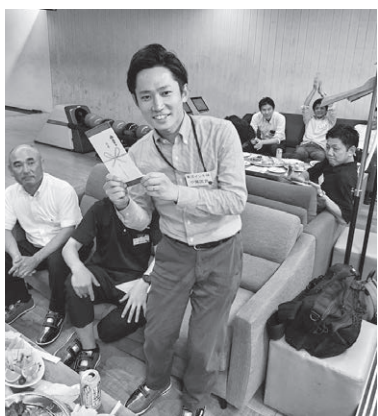
吉田賞の高田さん
(太洋電機産業株)



チームの垣根を越えてハイタッチ！



チーム戦優勝！ハーゲンダッツをGET！



個人戦準優勝の竹下さん（株ダイコー）（左）と
個人戦第3位の竹口さん（OPI 株）



個人戦スコア 174 で優勝の
中尾さん（東洋インキ株）。
堀川部長から景品が授与



ブービー賞の佐々木さん
（株）SCREEN GP ジャパン）



酒は永遠の友

vol.21

田口 薫

ドイツの空港の土産売り場に沢山並んでいる牡鹿のマークの四角いボトル、「イエーガーマイスター」は日本でいう養命酒だ。飲むと体がホカホカする。寒冷地ならではの酒で、フランスには「シャルトリューズ」がある。食後にこれらを飲むと体がシャキッとする。水割りやハイボールを何杯も飲んで長居するのは年寄りには不向きだが、色々な薬用酒で仕上げる飲み方はどうだろう。少し研究してみたい。

山国ではマムシ焼酎を作る。マムシは豊富にいたから捕まえて、一升瓶に閉じ込め、一気に焼酎を注ぐ。当然即死するが、これから出るエキ스가よく効くのだ。強壮剤として、打ち身、切り傷にもよく効く。打ち身はすぐつけると腫れも引く。もう半世紀以上昔の話で、マムシ焼酎のない家はほとんどなかった。今はマムシがいない。青大将やヤマカガシも見ない。マムシ焼酎の10年物はかなり生臭い。そして蛇の体が崩れている。アルコール度数が高ければもっとしっかりしていると思うが、25%では仕方がない。その点、沖縄のハブ酒は泡盛の35%以上の古酒（クースー）でこしらえるから少しは長持ちするだろう。



沖縄では海蛇を食べる。かなり太い蛇で、これをぶつ切りにしてスープで煮て袋に入れて売られている。さすがにゲテモノ食いの私でも手が出ない。沖縄は山羊が高級な食べ物で、山羊汁を食べさせる店がある。臓物も入っているから臭み消しにヨモギを沢山入れて煮てある。泡盛と合わせるとよくマッチする。

爬虫類入りの酒に中国の蛤虫介酒（ハーカイチュー）がある。日本のヤモリの10倍もある中国のヤモリが50%の白酒に漬けてある。サソリの酒もある。サソリは有名中華の「赤坂璃宮」でもメニューにある。唐揚げで1匹500円、高すぎる。同じ毒蛇でもガラガラヘビ、コブラは聞かない。アジア独特のものなのかもしれない。



ヨーロッパへ行くとあんず、サクランボ、洋ナシ、リンゴ等、果実のスピリッツ（蒸留酒）が数多くある。ドイツではキルシュワッサー（キルシュ）と言って、透明で50%のものがあり、サクランボの果実を発酵させてとったものを更に蒸留して作るが、ちっともサクランボの香りがしない。

他にも色々な果実酒があるが、ちょっと変わり種を紹介すると、ナシやリンゴは実が付いたらすぐ瓶をかぶせ、瓶一杯に育ったら切り離し、作っておいたブランデーを注いで栓をする。一見すると狭い穴にどうやって果実を入れるのか？ と不思議な気がする。どこでも手に入るものではないが、東京駅の地下街の「リカーズハセガワ本店」と目白駅のそばの「目白 田中屋」にはある。人を驚かすにはもってこいだ。



ブランデーは果実香が強く、私は好きだ。イタリアのミラノは、drupa、interpack でドイツへ行く時必ずと言ってよいほど立ち寄る街で、クッチーナ（台所）、トラットリア（居酒屋）等、気楽な店が揃っていて良い。ウニ入りやイカスミのパスタ、ミラノ風カツレツが名物である。

郊外の修道院を訪れた時、イタリアといえば大理石だが、ここは木がふんだんに使われており、特に内装は木象嵌の技が素晴らしい。この修道院で育てた薬草を強い酒に漬けて薬用酒として売っていたが、アルコール度数70%と聞いて驚いた。そのままにしてあるが、いつか使ってみよう。この70%の中身はアルコール+エステルか？ アルコールとは別の臭いがする。ガスクロで調べればはっきりするが、地中海の特徴でエステル臭がするような気がする。

ギリシャのウゾ、トルコのラキもほとんど同種の酒だが、水を入れるとサーッと白濁する不思議な酒だ。なぜあんな酒ができたのか？ その由来を知りたい。中東の錬金術師の仕業か？ アニス（西洋ウイキョウ）の香りが強いのでエステル臭と勘違いする。これは古代ローマで胃もたれや去痰に効用があるとされていた。これも薬用酒の一種だ。白濁する理由はアニスの精油が水と混ざって白くなるからだそう。アニスはミイラの腐敗臭を止めるのに使われたと言われる。日本人にはなじまない香りだ。

紙・板紙（1）

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年6月	前年同月比（%）	1～6月累計	前年同期比（%）	2026年6月	前年同月比（%）
紙・板紙合計	1,609,638	99.8	10,195,363	96.6	1,641,180	102.3
紙計	640,342	97.5	4,529,944	92.9	708,931	96.7
新聞巻取紙	103,842	85.8	645,446	87.3	104,625	94.4
印刷・情報用紙	285,227	98.5	2,250,529	89.8	353,556	94.3
非塗工印刷用紙	74,228	90.7	537,382	91.6	85,977	98.7
上級印刷紙	50,448	100.1	376,381	93.2	57,915	100.8
中級印刷紙	9,712	83.1	75,279	93.2	14,106	99.0
下級印刷紙	13,449	71.7	81,662	83.7	13,318	89.7
薄葉印刷紙	619	64.2	4,060	93.0	638	113.7
微塗工印刷用紙	26,970	97.4	282,757	85.7	49,130	100.5
塗工印刷紙	104,820	94.1	914,429	88.2	142,712	88.3
アート紙	2,093	108.3	11,193	90.9	1,926	90.1
コート紙	69,308	109.4	515,291	87.4	86,584	94.4
軽量コート紙	24,622	67.7	320,151	90.4	42,919	78.5
その他	8,797	90.7	67,794	84.1	11,283	86.2
特殊印刷用紙	13,159	102.5	73,434	91.6	12,250	95.1
色上質紙	5,146	137.7	23,796	89.1	3,612	92.3
その他	8,013	88.0	49,638	92.8	8,638	96.4
情報用紙	66,050	118.3	442,527	93.6	63,487	98.5
複写原紙	5,826	246.3	36,695	94.1	1,731	181.4
フォーム用紙	11,070	114.5	81,024	95.5	13,194	93.3
PPC用紙	42,633	112.0	255,119	91.7	42,448	93.7
情報記録紙	5,295	120.8	60,240	100.9	4,764	167.0
その他	1,226	91.6	9,449	86.1	1,350	111.0
包装用紙	47,922	104.8	376,130	101.3	58,148	105.8
未晒し包装紙	35,380	106.4	263,653	102.3	42,139	110.6
重袋用両更クラフト紙	19,372	114.9	155,272	101.8	25,419	115.9
その他両更クラフト紙	14,032	93.5	97,764	100.8	14,788	99.3
その他未晒し包装紙	1,976	144.6	10,617	128.0	1,932	153.0
晒し包装紙	12,542	100.4	112,477	99.1	16,009	95.0
純白ロール紙	2,785	105.1	30,215	101.3	4,319	93.8
晒しクラフト紙	8,369	97.4	73,092	94.8	10,278	92.9
その他	1,388	111.2	9,170	138.6	1,412	118.9
衛生用紙	153,049	100.8	930,801	100.1	145,241	99.4
ティッシュペーパー	29,037	96.2	194,865	98.2	27,221	95.3
トイレットペーパー	94,469	101.4	555,714	98.8	89,119	99.5
タオル用紙	23,253	107.0	144,356	110.0	23,124	105.6
その他	6,290	93.3	35,866	94.5	5,777	93.8
雑種紙	50,302	103.5	327,038	99.0	47,361	101.9
工業用	47,241	104.3	308,917	99.1	44,301	102.2
加工原紙	38,371	106.2	257,957	100.0	35,571	101.8
電気絶縁紙	1,816	101.6	8,187	114.3	1,335	129.0
その他	7,054	95.6	42,773	92.1	7,395	100.1
家庭用	3,061	93.0	18,121	97.0	3,060	98.2

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年6月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同月比 (%)	1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同月比 (%)
9,806,481	103.7	213,297	103.9	1,293,648	101.2	1,002,143	89.9
4,534,854	95.7	128,918	101.3	804,924	99.1	172,477	100.0
643,445	92.9	15,193	98.2	92,631	97.0	146,295	90.0
2,312,628	93.2	53,777	97.8	343,432	94.8	513,205	92.0
547,266	94.1	12,739	101.6	80,004	95.7	124,548	92.8
387,691	95.5	8,762	103.8	57,845	97.0	77,489	93.9
76,517	94.5	2,112	102.3	11,301	97.6	18,564	94.5
79,139	87.4	1,644	88.9	9,577	87.3	26,186	88.8
3,919	91.6	221	122.1	1,281	91.4	2,309	92.0
300,992	92.0	6,719	102.5	40,720	93.0	50,710	74.7
984,735	91.9	20,384	92.2	136,446	93.1	190,049	93.0
11,442	93.0	371	96.9	2,196	98.0	2,332	88.4
557,072	91.8	12,334	98.4	77,313	93.5	101,194	96.7
339,451	91.7	5,591	81.2	42,907	91.0	64,914	88.9
76,770	93.6	2,088	90.3	14,030	96.9	21,609	90.0
78,209	99.1	3,565	100.0	21,638	99.3	46,875	93.9
24,869	96.7	718	93.5	4,792	93.6	20,372	93.8
53,340	100.3	2,847	101.8	16,846	101.0	26,503	94.0
401,426	95.3	10,370	101.4	64,624	97.1	101,023	99.8
9,930	85.1	330	184.4	1,829	90.1	8,005	107.2
85,758	96.2	2,116	97.7	13,476	98.4	19,209	89.5
270,840	95.6	6,630	95.5	41,875	97.0	57,076	100.6
25,277	95.6	897	165.5	4,746	100.3	12,844	109.9
9,621	89.6	397	100.0	2,698	92.2	3,889	99.5
378,450	100.8	8,917	112.2	56,660	104.2	82,937	95.7
264,644	102.4	5,982	118.2	36,553	105.6	57,159	95.7
156,123	101.3	3,470	124.6	20,797	105.0	33,210	98.3
98,251	102.6	2,226	106.2	14,275	105.1	21,842	90.9
10,270	122.4	286	160.7	1,481	121.1	2,107	109.7
113,806	97.3	2,935	101.7	20,107	101.7	25,778	95.7
30,717	101.4	800	103.0	5,463	105.9	4,923	91.7
74,552	93.2	1,680	97.2	11,937	94.7	15,912	90.8
8,537	128.6	455	119.4	2,707	134.6	4,943	121.8
914,167	100.2	34,619	101.9	218,840	103.2	89,040	90.9
185,915	95.7	7,408	96.5	52,295	97.2	18,143	111.3
554,190	100.7	19,463	103.4	120,299	104.6	49,674	85.5
138,748	106.1	5,855	104.3	35,554	110.3	16,541	89.6
35,314	95.6	1,893	101.9	10,692	97.2	4,682	92.5
286,164	102.5	16,412	110.0	93,361	106.2	93,327	91.8
268,589	102.8	14,421	110.1	82,570	106.8	87,033	91.3
219,538	103.7	8,330	105.4	49,854	104.7	64,618	86.3
6,577	106.9	2,427	133.7	12,277	124.9	4,635	109.7
42,474	97.8	3,664	108.5	20,439	102.7	17,780	109.6
17,575	98.2	1,991	108.9	10,791	102.4	6,294	98.5

紙・板紙（２）

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年6月	前年同月比（%）	1～6月累計	前年同期比（%）	2026年6月	前年同月比（%）
板紙計	969,296	101.3	6,622,342	116.7	932,249	107.1
段ボール原紙	806,116	102.2	5,501,322	117.7	770,331	108.0
ライナー小計	498,337	104.4	3,373,497	116.9	468,928	108.3
外装用（クラフト）	356,167	105.6	2,400,523	117.0	339,511	108.6
外装用（ジュート）	133,237	102.2	913,522	116.7	120,866	108.1
内装用	8,933	93.5	59,452	118.4	8,551	98.7
中しん原紙小計	307,779	98.8	2,127,825	118.9	301,403	107.7
紙器用板紙	117,067	98.0	798,327	111.5	119,346	102.8
白板紙	107,805	97.9	738,261	111.5	110,892	103.2
マニラボール	43,679	106.0	305,673	114.9	48,119	108.7
白ボール	64,126	93.1	432,588	109.2	62,773	99.4
黄・チップボール・色板紙	9,262	98.7	60,066	110.9	8,454	97.6
雑板紙	46,113	95.8	322,693	113.4	42,572	102.2
建材原紙	14,386	93.8	93,208	114.2	13,794	103.4
紙管原紙	24,525	97.8	161,339	115.9	21,549	101.8
その他	7,202	93.2	68,146	107.2	7,229	100.7

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年6月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

プラスチックフィルム・シート

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年6月	前年同月比（%）	1～6月累計	前年同期比（%）	2026年6月	前年同月比（%）
フィルム合計	187,262	106.5	1,002,170	100.0	185,409	106.9
軟質製品小計	136,844	108.4	727,702	101.0	126,084	108.4
農業用	6,152	95.7	32,858	93.4	5,234	109.6
包装用	95,584	108.3	512,551	101.2	89,090	108.5
ラミネート	9,793	106.6	50,432	98.0	9,965	107.3
その他	25,315	113.2	131,861	103.5	21,795	107.8
硬質製品	50,418	101.7	274,468	97.4	59,325	103.8
シート	19,206	105.6	105,513	103.2	17,288	107.3
合成皮革	4,518	104.6	25,107	96.9	4,628	107.7

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年6月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

インキ

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年6月	前年同月比（%）	1～6月累計	前年同期比（%）	2026年6月	前年同月比（%）
印刷インキ合計	22,820	105.0	124,020	97.0	24,717	103.4
一般インキ小計	21,343	105.4	114,956	97.7	23,547	104.1
平版	4,759	102.2	27,662	98.5	4,729	96.6
樹脂凸版	1,783	107.2	9,060	99.0	1,628	107.5
金属印刷	817	110.7	4,245	101.1	908	108.2
グラビア	10,881	105.1	57,477	95.5	12,962	105.9
その他	3,103	109.5	16,512	102.8	3,320	105.6
新聞インキ	1,477	98.9	9,064	89.2	1,170	91.1
印刷インキ用ワニス	5,465	106.6	29,622	93.1	1,849	102.7

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年6月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同月比 (%)	1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同月比 (%)
5,271,627	111.7	84,379	108.3	488,724	104.7	829,666	88.0
4,326,263	114.8	62,401	107.7	362,684	104.7	603,168	86.4
2,625,499	124.3	39,106	106.5	228,794	104.1	394,475	86.7
1,879,493	102.4	28,829	106.7	167,133	103.8	287,656	84.5
697,002	102.6	9,428	106.0	57,028	105.1	98,468	92.6
49,004	98.7	849	107.3	4,633	101.8	8,351	103.3
1,700,764	102.7	23,295	109.8	133,890	105.9	208,693	85.8
691,259	100.2	17,021	111.2	96,492	106.2	154,464	88.3
641,811	100.6	15,935	112.0	90,370	106.8	132,961	86.2
275,624	104.0	8,185	116.5	45,788	109.9	54,921	82.6
366,187	98.1	7,750	107.6	44,582	103.8	78,040	89.0
49,448	95.5	1,086	100.8	6,122	98.8	21,503	103.6
254,105	97.2	4,957	105.6	29,548	99.5	72,034	103.4
78,117	97.1	1,030	101.7	6,078	96.0	22,057	102.8
127,063	98.5	2,204	107.3	12,758	102.7	29,114	92.0
48,925	94.4	1,723	106.0	10,712	98.0	20,863	125.8

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同月比 (%)	1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同月比 (%)
1,042,151	103.0	129,575	115.7	695,712	112.7	264,055	94.3
715,082	103.7	95,789	118.8	512,538	118.0	198,742	95.7
35,764	104.1	3,041	123.4	19,672	113.5	14,141	85.1
507,672	104.0	53,873	125.4	276,834	127.8	137,006	95.4
56,515	101.1	9,851	117.4	51,029	103.5	23,948	100.1
115,131	103.7	29,024	108.3	165,003	109.3	23,647	100.7
327,069	101.6	33,786	107.6	183,174	99.9	65,313	90.3
96,805	105.6	9,300	113.4	48,594	105.3	18,889	90.8
25,356	98.4	8,504	111.4	46,075	100.3	2,522	80.8

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同月比 (%)	1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同月比 (%)
142,524	97.2	25,375	111.6	138,704	65.9	21,436	106.5
135,092	98.2	24,630	112.1	134,078	65.4	19,243	105.5
29,487	94.1	3,729	101.7	22,636	96.3	6,281	104.7
9,316	104.1	1,417	114.1	7,892	107.5	1,289	94.8
5,145	100.4	926	116.2	5,010	40.7	1,032	133.3
72,470	97.8	8,808	119.3	46,248	41.2	7,270	105.3
18,674	103.7	9,750	109.9	52,292	105.5	3,371	105.5
7,432	82.2	745	97.1	4,626	86.2	2,193	116.3
10,037	98.7	824	114.0	4,456	106.3	1,991	104.7

不織布

	生産量 (トン)				販売数量	
	2026 年 6 月	前年同月比 (%)	1～6 月累計	前年同期比 (%)	2026 年 6 月	前年同月比 (%)
不織布合計	22,778	100.9	126,675	97.5	21,841	102.4
乾式不織布	19,969	102.2	109,985	97.6	18,942	103.2
湿式不織布	2,809	92.5	16,690	96.8	2,899	97.3
用途別生産内訳	衣料用	89	66.9	643	109.2	
	車両用	3,479	104.3	19,739	101.4	
	その他の産業用	4,846	97.5	29,023	95.9	
	土木・建築用	1,366	117.7	7,848	108.1	
	農業・園芸用	152	80.4	677	82.1	
	生活関連用	5,919	99.1	33,201	95.0	
	医療・衛生用	6,024	103.6	30,237	97.2	
その他用	910	91.0	5,317	98.0		

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026 年 6 月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

粘着テープ・シート類

	出荷数量 (平方 m)				出荷金額 (千円)			
	2026 年 6 月	前年同月比 (%)	1～6 月累計	前年同期比 (%)	2026 年 6 月	前年同月比 (%)	1～6 月累計	前年同期比 (%)
粘着テープ・シート合計	75,472,893	108.5	433,022,593	104.6	10,288,803	99.9	56,792,759	94.3
粘着テープ類小計	71,898,451	107.8	414,603,345	104.4	9,796,837	98.8	54,279,324	93.6
紙	34,186,522	128.7	180,086,909	110.3	2,330,531	129.1	11,593,499	110.9
布	9,949,537	93.8	61,062,457	104.4	1,781,819	105.3	10,291,742	107.3
フィルム	23,874,944	94.2	151,487,802	101.6	3,518,403	84.8	20,404,747	86.9
特殊	3,887,448	93.9	21,966,180	83.4	2,166,083	95.5	11,989,335	82.9
粘着シート類	3,574,442	122.5	18,419,248	109.0	491,966	128.5	2,513,436	112.4

出所：日本粘着テープ工業会、累計は編集スタッフが計算した

ポリプロピレンフィルム

	出荷量 (トン)			
	2026 年 6 月	前年同月比 (%)	1～6 月累計	前年同期比 (%)
OPP フィルム合計	19,283	112.9	107,456	105.7
内需計	18,920	112.5	105,650	105.2
食品	15,423	114.9	85,760	105.8
繊維・雑貨	1,178	106.7	6,731	103.4
工業用・その他	2,319	101.1	13,159	102.8
輸出	363	139.1	1,806	142.8
CPP フィルム合計	13,277	106.0	77,138	103.5
内需計	13,089	106.2	75,638	103.2
食品	11,229	106.5	65,248	103.5
工業用	572	105.3	2,730	98.6
繊維・雑貨・その他	1,288	103.5	7,660	103.0
輸出	188	96.4	1,500	119.2

出所：日本ポリプロピレンフィルム工業会、累計は編集スタッフが計算した

アルミ箔

	数量	
	2026 年 6 月	前年同月比 (%)
生産数量 (トン)	8,281	91.9
販売数量 (トン)	8,182	96.9
販売金額 (百万円)	12,110	112.5
月末在庫 (トン)	4,308	89.8

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026 年 6 月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同期比 (%)	1～6月累計	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同期比 (%)
119,527	96.1	18,538	105.7	101,641	99.4	30,202	100.3
105,217	97.9	15,119	107.1	82,035	98.7	23,838	100.1
14,310	84.6	3,419	99.7	19,606	102.1	6,364	101.0

印刷加工機械

	生産台数 (数量)		生産金額 (百万円)	
	2026年6月	前年同期比 (%)	2026年6月	前年同期比 (%)
印刷機械	1,345	88.8	11,578	103.4
平版小計	39	90.7	7,295	105.7
長巻式	2	25.0	2,786	172.1
枚葉式	37	105.7	4,509	85.3
凹版	×	—	×	—
その他	×	—	×	—
製版機械	30	66.7	546	104.4
紙工機械合計	14	127.3	956	45.4
段ボール製造用機械	1	—	139	—
その他	13	118.2	817	38.8

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年6月）、×は秘匿、累計、前年同期比は編集スタッフが計算した

印刷機械輸出入

		台数 (数量)		金額 (千円)	
		2026 年 6 月	前年同月比 (%)	2026 年 6 月	前年同月比 (%)
輸 入	オフセット (巻紙式)	1	－	510,646	－
	オフセット (その他)	1	－	10,793	－
	凸版	0	－	0	－
	グラビア	1	－	52,748	－
	フレキシ	1	－	242,191	－
	インクジェット	4,686	82.3	699,651	112.2
輸 出	オフセット (巻紙式)	9	450.0	46,796	24.6
	オフセット (その他)	85	82.5	6,482,270	91.8
	凸版	11	1100.0	6,347	32.3
	グラビア	0	－	0	－
	フレキシ	3	37.5	59,861	612.7
	インクジェット	2,023	129.4	2,495,863	77.7

出所：日本貿易月表（2026年6月）、累計、前年同期比は編集スタッフが計算した

ポリオレフィンフィルム

	出荷数量 (トン)			
	2026年6月	前年同期比 (%)	1～6月累計	前年同期比 (%)
合計	27,702	105.8	163,287	101.1
LDPE 合計	18,990	106.4	111,852	101.4
HDPE 合計	8,469	102.4	50,043	98.7
IPP フィルム	243	405.0	1,392	103.3

出所：日本ポリオレフィンフィルム工業組合、累計は編集スタッフが計算した



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷

印刷の製品別生産金額推移（百万円）

	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2023年 1月	4,230	9,036	298	3,682	6,934	1,209	1,324	26,713
2月	4,351	10,053	420	3,522	7,641	1,268	1,416	28,671
3月	4,945	13,491	293	4,613	8,139	1,326	1,730	34,537
4月	4,382	10,439	416	4,089	8,412	1,350	1,711	30,799
5月	4,037	9,856	481	3,804	7,161	1,182	1,455	27,976
6月	4,359	10,436	685	4,611	7,746	1,282	1,616	30,735
7月	4,254	9,333	689	3,789	7,905	1,341	1,617	28,928
8月	3,998	9,099	553	3,684	6,974	1,157	1,415	26,880
9月	4,335	10,535	502	3,957	7,981	1,319	1,731	30,360
10月	4,339	10,487	520	4,236	7,885	1,275	1,649	30,391
11月	4,317	11,105	464	3,876	7,901	1,404	1,647	30,714
12月	4,324	10,896	491	3,913	7,841	1,258	1,632	30,355
2023年 合計	51,871	124,766	5,812	47,776	92,520	15,371	18,943	357,059
2023年 平均	4,323	10,397	484	3,981	7,710	1,281	1,579	29,755
2024年 1月	3,938	9,243	368	3,577	6,697	1,188	1,369	26,380
2月	4,232	10,492	372	3,409	7,462	1,307	1,477	28,751
3月	4,522	12,516	452	4,142	7,771	1,497	1,460	32,360
4月	4,174	10,369	441	3,907	8,242	1,404	1,615	30,152
5月	3,827	10,094	482	3,834	7,348	1,302	1,606	28,493
6月	4,223	10,410	627	4,370	8,073	1,403	1,590	30,696
7月	4,240	9,635	730	3,746	8,335	1,467	1,703	29,856
8月	4,029	9,153	542	3,578	6,980	1,297	1,413	26,992
9月	4,183	10,294	564	3,841	8,295	1,346	1,549	30,072
10月	4,352	10,558	614	4,060	8,287	1,478	1,586	30,935
11月	4,361	10,812	531	3,845	8,506	1,392	1,628	31,075
12月	4,325	10,892	510	4,275	8,637	1,343	1,572	31,554
2024年 合計	50,406	124,468	6,233	46,584	94,633	16,424	18,568	357,316
2024年 平均	4,201	10,372	519	3,882	7,886	1,369	1,547	29,776
2025年 1月	3,865	9,147	439	3,543	6,979	1,325	1,400	26,698
2月	3,976	10,534	381	3,540	7,994	1,422	1,499	29,346
3月	4,188	12,862	448	4,504	8,182	1,483	1,524	33,191
4月	3,718	10,274	427	4,033	8,735	1,438	1,587	30,212
5月	3,703	10,078	414	4,114	7,899	1,393	1,541	29,142
6月	3,920	10,610	348	4,854	8,588	1,440	1,642	31,402
7月	3,906	9,432	547	4,195	8,655	1,421	1,731	29,887
8月	3,692	8,886	524	3,622	7,296	1,190	1,356	26,566
9月	3,893	10,290	664	4,065	8,475	1,333	1,565	30,285
10月	4,093	10,692	596	4,598	8,539	1,477	1,669	31,664
11月	4,060	10,587	560	3,887	8,570	1,394	1,569	30,627
12月	4,154	10,366	534	4,368	8,415	1,319	1,514	30,670
2025年 合計	47,168	123,758	5,882	49,323	98,327	16,635	18,597	359,690
2025年 平均	3,931	10,313	490	4,110	8,194	1,386	1,550	29,974
2026年 1月	3,535	8,924	520	4,136	7,545	1,218	1,439	27,317
2月	3,689	10,214	473	3,777	8,018	1,273	1,444	28,888
3月	4,041	12,630	451	4,783	8,308	1,241	1,628	33,082
4月	3,594	10,376	429	4,615	9,172	1,231	1,634	31,051
5月	3,446	9,429	433	4,368	8,238	1,312	1,439	28,665
6月	3,778	10,511	441	5,306	9,713	1,399	1,864	33,012
7月	3,643	9,587	571	4,298	9,902	1,448	1,448	31,220



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷

印刷の製品別生産金額比率（％）

	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2023年 1月	15.8	33.8	1.1	13.8	26.0	4.5	5.0	100.0
2月	15.2	35.1	1.5	12.3	26.7	4.4	4.9	100.0
3月	14.3	39.1	0.8	13.4	23.6	3.8	5.0	100.0
4月	14.2	33.9	1.4	13.3	27.3	4.4	5.6	100.0
5月	14.4	35.2	1.7	13.6	25.6	4.2	5.2	100.0
6月	14.2	34.0	2.2	15.0	25.2	4.2	5.3	100.0
7月	14.7	32.3	2.4	13.1	27.3	4.6	5.6	100.0
8月	14.9	33.9	2.1	13.7	25.9	4.3	5.3	100.0
9月	14.3	34.7	1.7	13.0	26.3	4.3	5.7	100.0
10月	14.3	34.5	1.7	13.9	25.9	4.2	5.4	100.0
11月	14.1	36.2	1.5	12.6	25.7	4.6	5.4	100.0
12月	14.2	35.9	1.6	12.9	25.8	4.1	5.4	100.0
2023年 平均	14.5	34.9	1.6	13.4	25.9	4.3	5.3	100.0
	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2024年 1月	14.9	35.0	1.4	13.6	25.4	4.5	5.2	100.0
2月	14.7	36.5	1.3	11.9	26.0	4.5	5.1	100.0
3月	14.0	38.7	1.4	12.8	24.0	4.6	4.5	100.0
4月	13.8	34.4	1.5	13.0	27.3	4.7	5.4	100.0
5月	13.4	35.4	1.7	13.5	25.8	4.6	5.6	100.0
6月	13.8	33.9	2.0	14.2	26.3	4.6	5.2	100.0
7月	14.2	32.3	2.4	12.5	27.9	4.9	5.7	100.0
8月	14.9	33.9	2.0	13.3	25.9	4.8	5.2	100.0
9月	13.9	34.2	1.9	12.8	27.6	4.5	5.2	100.0
10月	14.1	34.1	2.0	13.1	26.8	4.8	5.1	100.0
11月	14.0	34.8	1.7	12.4	27.4	4.5	5.2	100.0
12月	13.7	34.5	1.6	13.5	27.4	4.3	5.0	100.0
2024年 合計	14.1	34.8	1.7	13.0	26.5	4.6	5.2	100.0
	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2025年 1月	14.5	34.3	1.6	13.3	26.1	5.0	5.2	100.0
2月	13.5	35.9	1.3	12.1	27.2	4.8	5.1	100.0
3月	12.6	38.8	1.3	13.6	24.7	4.5	4.6	100.0
4月	12.3	34.0	1.4	13.3	28.9	4.8	5.3	100.0
5月	12.7	34.6	1.4	14.1	27.1	4.8	5.3	100.0
6月	12.5	33.8	1.1	15.5	27.3	4.6	5.2	100.0
7月	13.1	31.6	1.8	14.0	29.0	4.8	5.8	100.0
8月	13.9	33.4	2.0	13.6	27.5	4.5	5.1	100.0
9月	12.9	34.0	2.2	13.4	28.0	4.4	5.2	100.0
10月	12.9	33.8	1.9	14.5	27.0	4.7	5.3	100.0
11月	13.3	34.6	1.8	12.7	28.0	4.6	5.1	100.0
12月	13.5	33.8	1.7	14.2	27.4	4.3	4.9	100.0
2025年 平均	13.1	34.4	1.6	13.7	27.3	4.6	5.2	100.0
	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2026年 1月	12.9	32.7	1.9	15.1	27.6	4.5	5.3	100.0
2月	12.8	35.4	1.6	13.1	27.8	4.4	5.0	100.0
3月	12.2	38.2	1.4	14.5	25.1	3.8	4.9	100.0
4月	11.6	33.4	1.4	14.9	29.5	4.0	5.3	100.0
5月	12.0	32.9	1.5	15.2	28.7	4.6	5.0	100.0
6月	11.4	31.8	1.3	16.1	29.4	4.2	5.6	100.0
7月	11.7	30.7	1.8	13.8	31.7	4.6	4.6	100.0



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見るグラビア印刷

印刷の版式別生産金額推移（百万円）

	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2023年 1月	2,236	16,400	5,351	205	330	2,191	26,713
2月	2,550	17,744	5,770	216	407	1,984	28,671
3月	2,700	22,085	6,588	251	407	2,506	34,537
4月	3,042	18,741	6,113	261	425	2,217	30,799
5月	2,389	17,505	5,492	232	321	2,037	27,976
6月	2,615	18,976	5,722	277	424	2,721	30,735
7月	2,733	17,615	5,760	293	426	2,101	28,928
8月	2,606	16,708	5,002	254	379	1,931	26,880
9月	2,869	18,873	5,875	275	423	2,045	30,360
10月	2,700	18,752	5,837	264	463	2,375	30,391
11月	2,865	19,078	5,861	271	465	2,174	30,714
12月	3,025	18,913	5,493	273	441	2,210	30,355
2023年 合計	32,330	221,390	68,864	3,072	4,911	26,492	357,059
2023年 平均	2,694	18,449	5,739	256	409	2,208	29,755
2024年 1月	2,165	16,310	5,107	221	324	2,253	26,380
2月	2,470	18,159	5,580	239	324	1,979	28,751
3月	2,643	20,789	6,042	210	349	2,327	32,360
4月	3,054	18,358	5,984	253	373	2,130	30,152
5月	2,377	17,736	5,800	218	312	2,050	28,493
6月	2,721	18,686	6,047	249	335	2,658	30,696
7月	2,814	17,984	6,345	257	364	2,092	29,856
8月	2,581	16,602	5,219	199	272	2,119	26,992
9月	2,844	18,278	6,130	260	327	2,233	30,072
10月	2,636	18,688	6,456	250	366	2,539	30,935
11月	3,014	19,004	6,214	273	366	2,204	31,075
12月	3,194	19,179	6,092	245	351	2,493	31,554
2024年 合計	32,513	219,773	71,016	2,874	4,063	27,077	357,316
2024年 平均	2,709	18,314	5,918	240	339	2,256	29,776
2025年 1月	2,143	16,114	5,516	247	345	2,333	26,698
2月	2,550	18,061	6,046	225	341	2,123	29,346
3月	2,572	21,242	6,120	246	343	2,668	33,191
4月	2,977	18,239	6,098	262	352	2,284	30,212
5月	2,452	18,051	5,792	245	330	2,272	29,142
6月	2,729	18,852	6,115	270	375	3,061	31,402
7月	2,774	17,803	6,232	267	398	2,413	29,887
8月	2,545	16,340	5,094	237	290	2,060	26,566
9月	2,865	18,618	5,890	278	407	2,227	30,285
10月	2,839	19,114	6,270	306	415	2,720	31,664
11月	2,929	18,572	6,023	262	389	2,452	30,627
12月	3,073	18,740	5,745	277	367	2,468	30,670
2025年 合計	32,448	219,746	70,941	3,122	4,352	29,081	359,690
2025年 平均	2,704	18,312	5,912	260	363	2,423	29,974
2026年 1月	2,255	16,597	5,327	228	336	2,574	27,317
2月	2,601	17,985	5,308	232	342	2,420	28,888
3月	2,567	21,275	5,843	236	369	2,792	33,082
4月	2,942	18,484	6,140	208	375	2,902	31,051
5月	2,606	17,306	5,870	201	359	2,323	28,665
6月	2,743	19,369	7,035	265	433	3,167	33,012
7月	2,794	18,083	7,130	256	466	2,491	31,220



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見るグラビア印刷

印刷の版式別生産金額比率推移 (%)

	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2023年 1月	8.4	61.4	20.0	0.8	1.2	8.2	100.0
2月	8.9	61.9	20.1	0.8	1.4	6.9	100.0
3月	7.8	63.9	19.1	0.7	1.2	7.3	100.0
4月	9.9	60.8	19.8	0.8	1.4	7.2	100.0
5月	8.5	62.6	19.6	0.8	1.1	7.3	100.0
6月	8.5	61.7	18.6	0.9	1.4	8.9	100.0
7月	9.4	60.9	19.9	1.0	1.5	7.3	100.0
8月	9.7	62.2	18.6	0.9	1.4	7.2	100.0
9月	9.4	62.2	19.4	0.9	1.4	6.7	100.0
10月	8.9	61.7	19.2	0.9	1.5	7.8	100.0
11月	9.3	62.1	19.1	0.9	1.5	7.1	100.0
12月	10.0	62.3	18.1	0.9	1.5	7.3	100.0
2023年 平均	9.1	62.0	19.3	0.9	1.4	7.4	100.0
	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2024年 1月	8.2	61.8	19.4	0.8	1.2	8.5	100.0
2月	8.6	63.2	19.4	0.8	1.1	6.9	100.0
3月	8.2	64.2	18.7	0.6	1.1	7.2	100.0
4月	10.1	60.9	19.8	0.8	1.2	7.1	100.0
5月	8.3	62.2	20.4	0.8	1.1	7.2	100.0
6月	8.9	60.9	19.7	0.8	1.1	8.7	100.0
7月	9.4	60.2	21.3	0.9	1.2	7.0	100.0
8月	9.6	61.5	19.3	0.7	1.0	7.9	100.0
9月	9.5	60.8	20.4	0.9	1.1	7.4	100.0
10月	8.5	60.4	20.9	0.8	1.2	8.2	100.0
11月	9.7	61.2	20.0	0.9	1.2	7.1	100.0
12月	10.1	60.7	19.4	0.8	1.1	7.9	100.0
2024年 平均	9.1	61.5	19.9	0.8	1.1	7.6	100.0
	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2025年 1月	8.0	60.4	20.7	0.9	1.3	8.7	100.0
2月	8.7	61.5	20.6	0.8	1.2	7.2	100.0
3月	7.7	64.0	18.4	0.7	1.0	8.0	100.0
4月	9.9	60.4	20.2	0.9	1.2	7.6	100.0
5月	8.4	61.9	19.9	0.8	1.1	7.8	100.0
6月	8.7	60.0	19.5	0.9	1.2	9.7	100.0
7月	9.3	59.6	20.9	0.9	1.3	8.1	100.0
8月	9.6	61.5	19.2	0.9	1.1	7.8	100.0
9月	9.5	61.5	19.4	0.9	1.3	7.4	100.0
10月	9.0	60.4	19.8	1.0	1.3	8.6	100.0
11月	9.6	60.6	19.7	0.9	1.3	8.0	100.0
12月	10.0	61.1	18.7	0.9	1.2	8.0	100.0
2025年 平均	9.0	61.1	19.7	0.9	1.2	8.1	100.0
	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2026年 1月	8.3	60.8	19.5	0.8	1.2	9.4	100.0
2月	9.0	62.3	18.4	0.8	1.2	8.4	100.0
3月	7.8	64.3	17.7	0.7	1.1	8.4	100.0
4月	9.5	59.5	19.8	0.7	1.2	9.3	100.0
5月	9.1	60.4	20.5	0.7	1.3	8.1	100.0
6月	8.3	58.7	21.3	0.8	1.3	9.6	100.0
7月	8.9	57.9	22.8	0.8	1.5	8.0	100.0

GP 認定制度申請についてのお願い

GPマークの製品表示が可能になりました

全国グラビア協同組合連合会

平成20年よりグリーンプリンティング（GP）認定制度の受付（グラビアは第7回より開始）が始まっています。グラビア印刷部門のGP認定工場目標数は**70事業所**です。

GP 認定の取得によって、VOC排出削減、CO₂の排出削減等の「環境保全」「省エネ・省資源」と「安全・安心」の確約をし、差別化が進む社会に対応し長期不況の厳しい中で勝ち残る最大の武器になると考えます。現在「日印産連」において GPの周知活動が行われ、社会的な認知向上が進んでおります。

毎月「日印産連」において説明会が開催されております。この機会を逃さず参加されることを望みます。なお、グリーンプリンティング認定制度に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館 8 階

日印産連グリーンプリンティング認定事務局

(TEL: 03-3553-6123 FAX: 03-3553-6079 E-mail: gp-nintei@jfpi.or.jp web: <http://www.jfpi.or.jp/>)

※なお、GP マークが軟包装グラビア印刷製品（袋等）に表示が出来るようになりました。

「グリーンプリンティング（GP）マーク製品表示の手引き」をご参照願います。

【GP 制度概要説明会開催について】

- 毎月原則 2 日開催
- 参加費無料
- GP 制度と申請方法を分かりやすく説明
GP 認定制度の概要、GP 認定取得、GP マーク表示のメリット、GP 申請方法の概要等
- 当日、ガイドラインをお渡しします。
- GP 申請を希望する方で、まだガイドライン等を読んでいない方はこちらに参加の上、下記申請書作成説明会にご参加下さい。
- 各印刷部門共通です。
- 印刷業界内外問わず誰でも参加できます。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。

11月4日(水) 15:00～16:30 Zoom開催

【GP 申請書作成説明会開催について】

- 毎月原則20日開催
- 参加費無料
- 申請に必要な次の内容を具体的に説明
GP 申請書の書き方
添付書類作成方法
現地審査の内容等
- チェックシート記入の上、ご参加下さい。もちろん、不完全でかまいません。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。

【グラビア印刷部門】

10月20日(火) 10:00～12:00 Zoom開催

11月19日(木) 13:00～15:00 Zoom開催

認定番号	GP認定企業 / 事業所
H30001	賀谷セロファン(株)／本社・本社工場
H30002	大日本パッケージ(株)／本社工場
H30003	大日本パッケージ(株)／埼玉工場
H30004	三洋グラビア(株)／ 本社・ウイングファクトリー
H30005	三洋グラビア(株)／ みまよせファクトリー
H30007	トーホー加工(株)／小山工場
H30008	(株)日商グラビア／本社工場
H30009	東包印刷(株)／埼玉工場
H30010	中京化学(株)／本社工場
H30011	日大グラビア(株)／埼玉工場
H30012	芳生グラビア印刷(株)／本社工場
H30013	東洋FPP(株)／本社工場
H30014	(株)巧芸社／東京工場
H30015	トーホー加工(株)／名古屋工場
H30016	日新シール工業(株)／本社・本社工場
H30018	北上産業(株)／本社工場
H30019	トーホー加工(株)／東村山工場
H30020	北海紙工業(株)／本社工場
H30021	(株)東和プロセス／川口工場
H30022	音羽印刷(株)／狭山工場
H30023	(株)セイユー／本社工場
H30024	新生紙化工業(株)／本社工場
H30025	(株)巧芸社／福岡工場
H30026	菅野包装資材(株)／本社工場
H30027	(株)佐伯紙工所／白岡工場
H30028	(株)東シール／本社工場
H30029	極東高分子(株)／ ポリエチレン・ラミネート工場
H30030	(株)マルタカ／本社工場
H30031	(株)カスタムグラビア／東京工場
H30032	橋本セロファン印刷(株)／東領家工場
H30033	東和グラビア印刷(株)／大和工場
H30034	(株)ダイコー／本社工場
H30035	東包印刷(株)／平成埼玉工場
H30036	彫刻グラビア札幌(株)／本社工場
H30037	(株)イシトク／本社工場

認定番号	GP認定企業 / 事業所
H30038	東京加工紙(株)／筑波工場
H30039	真丸特殊紙業(株)／新潟事業部新潟工場
H30040	(有)染原化工／本社工場
H30041	(株)三裕商会／本社工場
H30042	日ポリ産業(株)／長門工場
H30043	信和産業(株)／本社工場
H30044	(株)水野グラビア印刷／本社工場
H30045	日本パッケージ(株)／本社工場
H30046	大和産業(株)／本社工場
H30047	三和化工紙(株)／本社工場
H30048	ナベプロセス(株)／大阪支社
H30049	アスバック(株)／本社工場・ラミ工場
H30050	八潮化学(株)／本社および関連工場
K30001	エヌ・アイ・シー(株)／関東工場
H30051	橋本セロファン印刷(株)／新郷工場
H30052	(株)グラビアジャパン／信州工場
H30053	(株)北四国グラビア印刷／本社工場
H30054	(株)アンド・アイ／羽曳野工場
H30055	エバーコート(株)／本社工場
H30056	(株)カスタムグラビア／大阪工場
H30057	(株)カスタムグラビア／本社工場
H30058	丸八製版(株)／本社工場
H30059	(株)平野屋物産／本社工場
H30060	(株)平野屋物産／鷹取工場
H30061	ニッコーグラビア印刷(株)／本社・工場
H30062	(株)トリネックス／長浜工場
H30063	信和工業(株)／埼玉工場
H30064	(株)共立グラビア／本社工場
H30065	(有)サングラビア／本社工場
H30066	ニッコーグラビア印刷(株)／ 東京印刷立会いセンター
H30067	橋本セロファン印刷(株)／ 本社・弥平工場
H30068	(株)丸本／福岡工場
H30069	静和精版印刷(株)／本社工場
H30070	淀川加工印刷(株)／本社工場

GP工場認定制度無料説明会のご案内

オンライン(Zoom)による説明会開催中

(一社) 日本印刷産業連合会・グリーンプリンティング認定事務局

(一社) 日本印刷産業連合会では、オフセット、シール、グラビア（軟包装）、スクリーン、総合の5印刷部門の工場を対象に、印刷環境総合認定制度「グリーンプリンティング工場認定制度」を実施しています。本制度は、関係各機関からも取り上げられており、GP マークは社会に普及しつつあります。

◎本制度の概要

本認定制度は、日印産連グリーン基準の工程および事業者の取り組みの項目を達成した工場に対し客観的評価による認定を行うもので、認定された工場は環境優良工場として、広く PR することができます。

◎本制度の特徴とメリット

- ①公表されている認定評価チェックシートを用い、事前に自己評価ができます。
- ②該当工程の基準の70%達成（一部必須項目あり）で認定を受けることができます（3年間有効）。
- ③ISO等の審査と異なり、審査員から指導、助言等を受けながら認定を受けることができます。審査員旅費等の費用、事前のコンサルタント等は一切必要ありません。
- ④学識経験者、マスコミ、クライアント業界等からなる認定委員会が判定しますので、信頼性ある制度として社会的に高く評価され、環境省「プレミアム基準策定ガイドライン」でも取り上げられ、東京都「グリーン購入ガイド」の水準2（高いレベル）として設定されています。
- ⑤認定工場は、その証である環境ラベル「GP マーク」を名刺、ホームページ等に表示することができ、環境経営に積極的な企業として評価されます。
- ⑥認定工場は印刷製品にも環境ラベル「GP マーク」を表示できます。現在まで GP マークを表示した印刷製品は7億部を超え、環境性能の高い印刷製品として社会に広く普及しています。
- ⑦認定は事業所（工場）単位で取得することになります。取得費用は工場従業員規模別に低価格で設定しています。取得費用の一覧はホームページ「工場申請方法」内にあります。

◎ GP 説明会の開催（開催日、開催時間は HP で確認して下さい）

毎月2日前後に GP 制度概要説明会（所要時間約1時間20分）を、毎月20日前後に GP 申請書作成説明会（所要時間約2時間）を開催（無料）しています。作成説明会では実際の申請書類の書き方等について具体的にご説明します。また、コロナウイルス感染防止のため、現在、WEB 開催（Zoom 使用）としており、全国から参加することができます。参加希望の方は下記にご記入の上、メールまたは FAX にてお申し込み下さい。

◎その他詳細について

本制度並びに説明会の日程等につきましては、当連合会・グリーンプリンティング認定制度のホームページ（「グリーンプリンティング」で検索）をご覧ください。※総合部門は事務局までお問合せ下さい。

メール：gp-nintei@jfpj.or.jp

FAX：03-3553-6079

TEL：03-3553-6123

日印産連 グリーンプリンティング認定事務局 行

年 月 日

オフセット印刷 シール印刷 グラビア印刷 スクリーン印刷 ※部門に○印をして下さい	資料	☐ 申請方法の手引き・ガイドラインを希望します ※希望の場合、上記□に✓印をして下さい (概要説明会に参加の方は当日配布します)	
会社名	説明会	☐ GP 制度概要説明会 開催日： 月 日 出席者①： メール： 出席者②： メール： 出席者③： メール： 計 名	☐ GP 申請書作成説明会 開催日： 月 日 出席者①： メール： 出席者②： メール： 出席者③： メール： 計 名
所在地 〒 TEL () FAX () メール：			
ご連絡部署・担当者名		※希望の場合、上記□に✓印をして下さい ※開催日時ホームページか電話で確認して下さい ※キャンセル、人数変更は必ずご連絡下さい	

Information

九州大学、AI と自己修復機能を備えた次世代食品包装の研究指針提案

九州大学大学院農学研究院の田中史彦教授、田中良奈准教授らの研究グループは、食品包装分野の最新研究を体系的に分析し、鮮度や温度などを検知・表示する包装「インテリジェント包装」、傷や亀裂を自らで修復する「自己修復包装」、人工知能（AI）を統合した「Future-Ready Food Packaging（次世代食品包装）」という新たな研究概念を提案した。

同研究では、インテリジェント包装、自己修復包装、AI 活用技術に関する最新研究を統合的にレビューし、①食品腐敗を検知する多様なセンサー材料を体系化、②センサー機能を維持できる自己修復材料の重要性を提示、③ AI による鮮度判定・賞味期限予測手

法を整理、④「認識—判断—行動—フィードバック」からなる閉ループ型包装システムの概念を提案、⑤将来の食品包装を「知的な情報システム」として再定義、といった成果を得た。

この研究成果は、食品ロス削減や物流の効率化、持続可能な食料供給システムの構築に貢献することが期待される。また、実用化に向けては、食品接触材料としての安全性評価、ナノ材料の移行評価、長期安定性検証、大量生産技術の確立、AI 予測モデルの標準化が必要であるとし、今後 5～10 年程度で鮮度予測機能を備えた自己学習型食品包装の実用化が進むとも期待している。

モノマテリアルから AI 搭載機まで TOKYO PACK 2026 が開催

2026 年 10 月 14 日（水）～ 16 日（金）、東京ビッグサイト東 1～3、7、8 ホールにて「TOKYO PACK 2026 東京国際包装展」が開催される。524 の企業・団体が出展し、モノマテリアルや再生材、AI を搭載した次世代システム、スマートパッケージ、先端テクノロジーをはじめとする最新技術が一堂に会する。ここでは出展者情報の中から、その一部を紹介する。

RN スマートパッケージング （ブース：7J02）

食品包装の「手間」と「ムダ」を減らす、「ラベルレスサーマル」と「スマレン」の 2 つの機能性包材を紹介。

ラベルレスサーマルはラベル・リボンを使わずに高精細な可変印字が可能。副資材を削減することで、ロール交換作業の手間を軽減し、生産性の向上や廃棄物の削減、

環境負荷の低減に貢献する。また、1 種類のフィルムで複数アイテムに対応する包材共通化により、在庫や切替ロスの削減も可能にする。スマレンはフィルムを剥がさず、そのまま電子レンジ加熱できる。レンジ加熱時に内圧に依存せず、マイクロ波によって自動的に蒸気孔が開くため、加熱品質の安定化や加熱ムラの抑制に貢献。実際の導入事例を交え、課題や活用方法も紹介する。



出光ユニテック（ブース：1G13）

「イージーピール」や「TD 方向直線カット」といった機能性フィルムに加え、リサイクルフィルムを紹介。ジッパー商品では、「易充填」「易開封」「デザイン性」などの機能を有する同社特有のジッパー「ポケットジップ」の新ラインアップや機能性ジッパーを展示する。シート商品では、ゲージダウンによる環境対応シートをはじめ、手で簡単に千切れるシートや、高い密封性と易開封性を備えたパッケージを紹介。

エックスライト（ブース：3K23）

色管理の標準化や色再現性の厳しい要求などに対応する各種色管理ソリューションを出品する。

分光濃度・測色計「eXact2」：ブランド企業と印刷会社の双方で活用でき、色を感覚ではなく数値で管理することで、色に関する曖昧なコミュニケーションを削減する。

標準光源装置「JudgeLED」：生産側と発注側が共通の照明条件で色を評価できる環境を提供。7種類の光源を切り替え可能で、実際の店舗環境を想定した照明条件での色評価にも活用できる。

クラウド型インク調色システム「Autura」：インク調色業務の効率化を支援。過去のレシピを一元管理できるため、作業の標準化や属人化の防止に貢献。

ブランド企業向け色管理ソリューション「PrintQualityProgram (PQP)」：ブランドとサプライヤー間で共通の色基準を運用するための仕組み。色指定から品質評価、結果共有までをデジタル化し、サプライチェーン全体での色管理を支援。

オリオン商事（ブース：1C19）

グラビアシリンダー用電子彫刻機 R10-16SA（DMA INNOTECH 社製）、グラビアシリンダー銅メッキ装置（SWIPRO 社製）、インキ調色機“カラーブレンドコンパクト”（INOVEL 社製／オリオン商事ブランド）、自動3液調合装置（ドライラミネート及び各種コーティング液用）、コーティング液供給装置（押出ラミ・各種コーティング等）、液ヒートリングシステム（自社製）、ノン溶剤ラミネート用自動2液調合装置（LR.PRODUCTS 社製）、溶

剤回収装置／小型 60L タイプ（CIEMME 社製）といったグラビア印刷・製版関連機器、ドライラミネート・各種コーティング関連機器などを出品。

片岡機械製作所（ブース：2C17）

軟包装コンバーター向け巻替検品機やコアレス残紙巻取機、手動型 90 度反転胴受けリフター、ジブクレーン付き台車、レールスライド式 90 度反転吊り具など、作業員の負担を軽減し、安全に配慮した省力化機器を複数展示。

サカタインクス（ブース：1G19）

「食品包装の安心・安全」「植物由来材料の積極的な活用」「次世代のパッケージ印刷技術」「サーキュラーエコノミーに向けた取り組み」の4つのテーマに沿って、インキ・コーティング剤を中心とした各種製品・技術を展示。

食品包装の安心・安全：PVC・NC フリーの「次世代ベルフローラ（開発中）」、食品接触対応紙用塗工剤や多機能ヒートシール剤。

植物由来材料の積極的な活用：「ボタニカルインキ」シリーズ、フィルム用途「ベルフローラ」「サピリア」、紙用途「エコプラータ」「エコフィオーレ」、オフセット UV インキ「DreamCure BM」。

次世代のパッケージ印刷技術：EB インキ、LED-UV 対応紙器用コーターニス、ラベル印刷用の水性・UV インクジェット (IJ) インキなど。

サーキュラーエコノミーへの取り組み：フィルムパッケージのモノマテリアル化による再資源化に貢献するため、機能性コーティング剤（酸素・保香性のバリア剤）や

脱墨インキ・ニス、モノソルインキを展示。
また、シリンダーリサイクルをはじめとした循環型社会実現への取り組みも紹介。

ZACROS（ブース：1G09）

長年培ってきた製袋・製膜・成型の技術を中心に、つめかえパウチ「Flowpack」シリーズ、業務用折りたたみ液体容器「CUBITAINER」、医薬・薬液分野における高いバリア性と安全性を実現する薬液バッグ「MediText」などを紹介。

環境負荷低減に貢献する独自の技術開発については、容器包装の資源循環向上、化石資源由来プラスチックの削減、温室効果ガス排出量低減を実現する取り組みを紹介する。

また、新たなソリューション事業として取り組んでいる分野については、ワクチンや抗体医薬などの製造に不可欠なシングルユース製品「バイファス」の展示や、細胞培養に関する事業についても紹介する。

大日精化工業（ブース：3G15）

水性パッケージソリューション、各種水性インキ、バイオマス原料を用いた環境配慮型インキ、汎用性を高めたインキ、機能性・意匠性を付与するインキ等、多数の製品を紹介。

本紙校正用IJプルーファー「StreamMaster WG II」：裏刷り・表刷りパッケージ印刷に使用される軟包装材に直接印字が可能な、水性IJプリンター。グラビア印刷／フレキソ印刷対応。

包装用水性インキ「ハイドリック シリーズ」：多種多様な包装用水性グラビア・フレキソインキ。

PS用表刷り裏刷り兼用インキ「DUOTRAY

シリーズ」：熱ラミネート用PSフィルムへの裏刷りに加え、熱成形用PSシートへの表刷りも可能な、表裏兼用インキ。

紙用水性グラビアインキ「ハイドリック SG（BI）シリーズ」：インキ中にアルコール類の含有がない水性グラビアインキ。消防法上の危険物には該当しない。

ダックエンジニアリング（ブース：3K23）

画像処理技術を応用した検査装置をはじめ、不良を見逃さずに防ぐ“不良をつくらない仕組み”、人の手に頼らず効率的に運用できる“自動化・省人化”に向けたシステムを提案。共同出展のNew IWASHOブースでは「製袋機での蛇行ピッチ制御装置」や「集積装置ソロエール」などの実演、Viscon Japanブースでは「Viscon 粘度コントローラー iCom システム」による同社とのコラボレーションを紹介。

DANGAN フィルム（ブース：1B01）

液体充填の属人化・技術伝承の課題を解決し、包装品質の均一化を実現する「DSS（ダンガンスマートシステム）」をオプション搭載可能とし、スキルレスと使いやすさを追求した「DANGAN G3」を出展。また、スタンダードモデル機として基本仕様を見直した液体小袋充填の高性能、高品質機「DANGAN R」、低価格、軽量化、省エネを実装したエントリーモデル機「DANGAN M」、フィルムの自動つなぎ機構により、自動化、ロス削減を実現した“DANGAN INFINITY”なども紹介。

環境負荷軽減＋液体充填の効率化を実現した紙製液体包材用フィルム「Li；paperリぺぱ」やモノマテリアルフィルムなどの環境対応フィルムを含む「DANGAN フィ

ルム ラインナップ」、液体充填に関わる業務を効率化、DX 推進をサポートするクラウドサービス「H.U.G.Home (ハグ・ホーム)」も併せて出展する。

DIC (ブース : 2R04)

サーキュラーエコノミーの実現に向け、多彩なソリューションを6つの展示テーマで紹介。ブースでは、バリューチェーン連携から生まれたソリューションを通じて、未来のパッケージの可能性や、会場限定のAR コンテンツで同社の技術やものづくりの現場を体感できる。

また、DIC ブース正面で、プチセミナーを3日間開催。サステナブルパッケージングの最新動向や注目ソリューションを分かりやすくコンパクトに解説する。

DNP (大日本印刷) (ブース : 1R13)

「世界中の Life に幸せと感動を」をキーメッセージに、「あたりまえをみつめる」「あたりまえをつくる」「あたりまえをつなぐ」の3つのゾーンを展開し、各種製品・サービスを紹介。

DNP 機能性フィルム複合型 PET ボトル「COMPLEX BOTTLE」: PET ボトルと機能性フィルムを一体成形することで、高いバリア性と優れたデザイン性を実現した容器。一般的な PET ボトルと比較して内容物保護性能の向上に貢献し、ガラスびんからの代替により軽量化や破損リスク低減が期待できる。

DNP ラミネートチューブ モノマテリアル仕様: PE 単一素材でリサイクルしやすいチューブ。フィルム内面への印刷により、胴部のつなぎ目やエンドシール部まで美しい意匠を全面に表現できる。

DNP モノマテリアル包材 PP ボイル・レトルト対応仕様: 加熱殺菌用途にも対応する PP モノマテリアル包材。単一素材化が難しかったボイル・レトルト用途に対応する。

東洋インキ (ブース : 2N10)

東洋インキは、artience グループ2社とともに、「ReLoop めぐる素材で未来を描く」の出展コンセプトのもと、持続可能な社会の実現に向けた、軟包装分野における紙化やモノマテリアル化などプラスチック使用量削減に貢献するソリューション、軟包装の環境負荷低減に実現する水性化・無溶剤化ソリューション、使用済みプラスチック包装・成形品の資源循環を実現するマテリアルリサイクルソリューションなどを紹介する。

また、スクリーン印刷による高意匠パッケージ、色覚の多様性に配慮したカラーユニバーサルデザイン、各種機能性コーティングなど、パッケージの意匠性と機能性を高める製品・ソリューションも展示し、包装分野における新たな価値創造を提案する。

TOPPAN (ブース : 2R10)

ブースのコンセプトは市場変化に柔軟に適応し、持続的な事業成長を目指す「レジリエンス」。顧客企業の事業継続と環境対応を同時に実現する、「レジリエンスパッケージ」「レジリエンスマーケティング」を、商品設計・素材開発・パッケージ生産・リサイクルなどの商品バリューチェーンに沿った「レジリエンスパッケージ ロードマップ」のもとで提案。

・1つの製品に複数のパッケージ形態仕様

を検討する“マルチパッケージ化”によるリスク分散の提案。

- ・生活者動向や業界トレンドを捉えたレポート提供で、需要変化に対応した商品企画の支援。

- ・パッケージ主要フィルムの全てに再生材を活用し、バージンプラスチックの使用量を削減することでサーキュラーエコノミーの実現に貢献する、再生材パッケージの開発・提供。

- ・「GL BARRIER」による脱アルミ化や、フィルム層構成削減等による CO2 排出量削減の実現。

- ・水性フレキソ印刷、EB オフセット印刷、ノンソルベントラミネーション等、有機溶剤の使用量を最小限に抑え、地球環境に配慮したサステナブルなパッケージ生産手法である「SX 生産方式」。

- ・同社の全国の生産拠点や多くのパートナー企業との連携のもと、顧客企業の商品生産を強力にサポートする、商品充填・セットアップ等の BPO 体制。

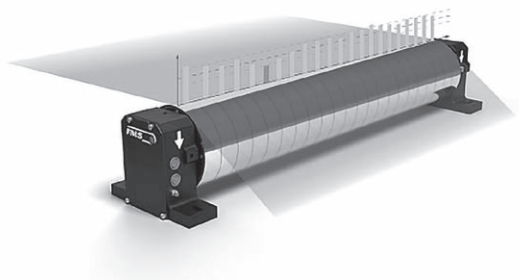
- ・ALL-PP や ALL-PE をはじめとする、リサイクル適性に優れたモノマテリアルパッケージの開発・供給。

- ・生活者に対するリサイクル重要性の啓発や業界でのリサイクルスキーム構築に向け、メーカー企業や官公庁・自治体等と連携した PoC（概念実証）の推進。

深瀬商事（ブース：7Y23）

新型スリット加工用ロードセル「SegFORCE」やガス透過率測定装置などを出品。

SegFORCE はスリット後の各セグメントの張力測定が可能で、複数の独立した張力計を備えたコンパクトな測定ロール。



ローラーの両端に張力計を備えた従来の張力監視システムとは異なり、このシステムはウェブ全体で最大 50 の測定値を提供し伸縮性の材料や敏感な材料の加工に関して、拡張監視により様々な機械や生産工程の改善を実現する。

フジキカイ（ブース：3M19）

フジキカイとグループ会社のフジパックシステム、プリンターメーカーのエムエスティ、水系 IJ の技術を持つコニカミノルタ、検査装置を手掛けるダックエンジニアリングの 5 社で共同開発した水系 IJP 搭載横形ピロー包装機「FPW3410 II B」の実機デモを実施する。

水系 IJ プリンターと乾燥装置、検査装置を搭載し、フィルムへ必要な内容を直接印刷しながら最大 80 個 /min の製品包装が可能。共通フィルムの使用が可能になるため、製品ごとのフィルム作成が不要となり、製品改廃に伴う旧版フィルムの廃棄量を大幅に削減。製品切替時もフィルム・リボンの交換が不要。小ロットからの受注・生産にも対応する。また、水系インクを使用し、様々なフィルム基材の表裏・多面（表面・側面・底面）へフレキシブルで高精細なカラー多色印刷が可能で、ラベルやシール貼付工程が不要となる。グラビア印刷フィルム使用時^{*1}と比較し 1 本あたり約

15万円のコストカットが可能で、環境面でも年間CO₂排出量を53%削減^{※2}。熱転写リボン使用時と比較しても年間CO₂削減量1,315トン^{※2}の貢献が可能。

※1：グラビア5色（白+CMYK）印刷+版代を製品1種類分の費用として換算し、最低ロット3本とする。同社調べ

※2：前提条件：中食150億食/年間（W/W）



ミヤコシ（ブース：7G33）

現場のスマート化を支える機械・システムを実機展示とパネルで紹介する。

製袋機用インライン自動集積・結束装置「MSBシリーズ」（実機展示）：三方袋、スタンド袋、三方ジッパー袋を自動集積・帯掛けする。多様な製袋機の前取り作業を自動化し、軟包装工場のマテハン省人化を実現。経験が浅くても容易に扱える優れた操作性やロボット連携でより高効率な生産ラインも構築できる。ブースではMSBの実機デモも予定。

軟包装用水性IJプリンター「MJP ADVANCEDシリーズ」：80m/minの高速プリントと優れた安定性を備え、水性インクの採用により、印刷現場の溶剤臭や

VOC排出量の低減にも対応。会場ではパネルや印刷サンプルを展示。

メイワパックス（ブース：1N01）

「人にやさしい」「社会にやさしい」「環境にやさしい」の3つの視点で同社グループのものづくりを紹介。

人にやさしい：多様な電子レンジ対応包装による簡便商品やユニバーサルデザインなど、顧客満足度向上につながる製品を展示。易開封性などの使いやすさを、実際に体験できる。

社会にやさしい：充填効率の向上や省力化に貢献するさまざまなパッケージ、耐内容物性に優れた高機能包装材、防災関連製品など社会に役立つ製品を展示。

環境にやさしい：脱墨・脱離やモノマテリアル等リサイクル性に特化した環境対応包材、法規制対応など、開発中の技術・製品も紹介。開発者によるミニセミナーも開催。



中小企業庁

約束手形の利用廃止を踏まえた サプライチェーン全体での支払の適正化について

政府としては、中小企業・小規模事業者の価格転嫁・取引適正化を阻害する商習慣の是正に取り組んでおり、その一環として、支払サイトの短縮や現金払いの促進に取り組んできました。

こうした中で、物価上昇に負けない賃上げの原資を確保できるようにするため、サプライチェーン全体で適切な価格転嫁を定着させる取引環境の整備が重要であることから、2025年5月16日に「下請代金支払遅延等防止法及び下請中小企業振興法の一部を改正する法律」が成立し、同月23日に公布されました。この法改正は、26年1月1日に施行され、下請代金支払遅延等防止法は、中小受託取引適正化法（取適法）となりました。

取適法では、手形払を禁止するとともに、電子記録債権や一括決済方式といったその他の支払い手段についても支払期日までに代金に相当する金銭（手数料等を含む満額）を得ることが困難なものを禁止しています。

また、2027年4月1日からは、独占禁止法上の「製造委託等に係る代金の支払に関する特定の不公正な取引方法」（支払告示）が施行されます。支払い告示は、取適法の対象とならない取引であっても、製造委託等を行った事業者が当該製造委託等を受けた事業者（ただし、取引上の地位が当該委託事業者に対して劣っていないと認められるものを除く）に対して、製造委託等代金を給付の受領（又は役務の提供）から起算して60日の期間経過後なお支払わないことを禁止するものであり、サプライチェーン全体での支払いの適正化をより一層推進するものです。

取適法および支払告示の施行に伴い、製造委託等代金を支払う事業者が、そのサイトを円滑に短縮するためには、自らに代金を支払う事業者だけでなく、その事業者が代金を支払う事業者も含めた、サプライチェーン全体でサイトが短縮されることが重要となります。

これらに加えて、2027年3月31日には、電子交換所における手形・小切手の利用交換が廃止されることを踏まえ、多くの金融機関が26年9月30日を手形・小切手の最終振出期限に設定しています。

つきましては、支払いの適正化を図るため、会員企業の皆様には下記の内容を確認の上、推進いただきますようお願い申し上げます。

1. 取適法では、2026年1月1日以後の発注に係る製造委託等代金の支払いに手形を交付することが禁止されています。また、電子記録債権や一括決済方式の現金以外の支払い手段についても、物品等の受領から起算して60日以内に定められる代金の支払期日まで

に当該代金の満額に相当する金銭を受領することができない場合は、その使用が禁止されます（例えば、物品等受領日から起算して 60 日を超える満期を設定した電子記録債権又は一括決済方式を使用する支払いは、原則として禁止される）。

2. 2027 年 4 月 1 日から独占禁止法上の支払告示が施行され、取適法の対象とならない取引を含む製造委託等に係る代金について、給付を受領した日（又は役務の提供を受けた日）から 60 日以内に支払わなければなりません。各事業者においては、委託事業者・受託事業者間で協議し、支払告示の内容を十分に理解した上で、適正な支払期日を設定してください。

3. 取適法及び支払告示の対象外の取引についても、サイトを製造委託等に係る物品等の受領日から起算して 60 日以内に短縮、代金の支払いをできる限り現金によるものとする等、サプライチェーン全体での支払の適正化に努めてください。とりわけ、建設工事、大型機器の製造など発注から納品までの期間が長期にわたる取引においては、委託事業者は支払の適正化とともに、前払比率、期中払比率をできる限り高めるなど支払条件の改善に努めてください。

4. 電子交換所における手形・小切手の交換が 2027 年 3 月 31 日に廃止されることを踏まえ、多くの金融機関において、手形・小切手の最終振出期限を 26 年 9 月 30 日として設定しています。各事業者においては、委託事業者・受託事業者間で協議し、電子的決済サービスへの移行等の対応を進めてください。

Information

DIC、グラビアインキ「ECOVART」のグローバル展開を開始

DIC は、溶剤使用量を大幅に削減する省溶剤型グラビア印刷向けインキ「ECOVART（エコバート）」の日本、中国、東南アジアを中心としたグローバル展開を開始する。同インキは「TOKYO PACK 2026」にも初出展する。

ECOVART は、インキに含まれる溶剤量そのものを削減したハイソリッド設計を採用。印刷時に適正なインキ粘度へあらかじめ調整した「Press-Ready Ink（すぐに印刷できるインキ）」として提供することで、溶剤

希釈や粘度調整作業を削減し、作業時間の短縮やオペレーターの負担軽減、溶剤の購入量や使用量の削減に貢献する。印刷工程で使用する溶剤量の削減を通じて、同社内の検証では、希釈溶剤使用量を約 50% 以上削減できることを確認した。また、溶剤回収対応にも適したインキのため更なる環境負荷低減に向けた活用や、溶剤在庫管理業務の簡素化や保管スペースの有効活用、溶剤の調達負荷や価格変動リスクの低減も期待できる。



—— 今月の気になる製品 ——



DIC グラフィックス

「DIC デジタルカラーガイド」に JAFCA トレンドカラーを初搭載

DIC グラフィックス㈱は、色見本帳アプリ「DIC デジタルカラーガイド」に、日本流行色協会（JAFCA）が発行する「JAFCA トレンドカラー 26/27 AUTUMN-WINTER (LADIES'、MEN'S、PRODUCTS & INTERIOR)」を新たに搭載した。これにより、最新トレンドカラーの確認から近似色の検索、DIC カラーガイドとの色比較までを単一アプリ上で行えるようになる。

JAFCA トレンドカラーは、JAFCA が年 2 回発信する国内市場向けのトレンドカラー情報で、ファッション、インテリア、プロダクトデザインなど幅広い分野で活用されている。

今回の DIC デジタルカラーガイドとの連携により、ユーザーは JAFCA が発信するシーズントレンドカラーをアプリ上で手軽に参照できる。また、DIC カラーガイドとの横断検索や近似色検索を通じて商品企画やデザイン開発に活用できるトレンドカラー情報と、キーワードを入力するだけで AI が配色提案を行う「AI Palette」を兼ね備えた色コミュニケーションツールと進化した。

新たに利用可能となる主な機能

- ・ JAFCA トレンドカラーおよび DIC カラーガイド全色の色情報（CMYK、RGB、JIS 系統色名）の閲覧
- ・ JAFCA トレンドカラー、DIC カラーガイドおよび JPMA（日本塗料工業会）塗料用標準色の横断検索
- ・ カメラ機能で撮影したサンプルから JAFCA トレンドカラーを含む近似色検索

DIC デジタルカラーガイド

推奨環境：iPhone iOS16.0 以降、iPad iPadOS16.0 以降

推奨機種：iPhone 8 以降、iPhone SE 2 以降、iPad（第 5 世代）以降、iPad Air（第 3 世代）以降、iPad Pro（Display P3 に対応していない機種では、高精度で表示できない色がある）

注意事項：DIC デジタルカラーガイドの新バージョンでは、一部機能（検索・カメラ）が有償



App Store